

くすの木通信

三高だより第217号

「夢をかなえる三島高校 ー自分軸を持って、自分の道を歩めー」

校長 宮内 俊洋

「夢をかなえる三島高校」このスローガンを胸に、昨年度も多くの生徒たちが夢に向かって懸命に歩み続けてくれました。その姿に、校長として心から感動を覚えるとともに、今年度も皆さんと共にこの言葉の意味を深めていきたいと思っています。昨年度の通信で、私はソフトバンクグループ会長の孫正義氏の言葉を紹介しました。「現実が厳しいからこそ自分の人生に対するビジョンをしっかりと持ってほしい」という言葉です。この言葉は、今年度もなお、皆さんへの変わらぬメッセージです。

今年度、私が皆さんに伝えたいのは「自分軸を持つ」ということです。現代社会を見渡せば、あらゆる方向から「正しさ」が押し付けられてきます。宗教は「こう生きるべきだ」と説き、国家は「こうあるべき国民像」を示し、企業はブランドや商品を通じて「こういう人間になれ」と誘惑し、SNSは日々膨大な情報と他者の価値観を私たちの画面に流し込んできます。それらは時に魅力的に映り、時に強制的に迫ってきます。気づかぬうちに、他人の物差しで自分の人生を測り、借り物の価値観の上に自分の夢を描いてしまうことさえあります。しかし、考えてみてください。ゴッホは世間の評価など意に介さず、自分が描きたい絵を描き続けました。ミュシャは貧しさの中にあっても、商業的成功よりも自らの芸術的情熱「スラヴ民族の歴史を描くという大きな夢」を生涯手放しませんでした。二人に共通するのは、外からの評価や常識に振り回されることなく、自分の内側に確固たる軸を持っていたということです。

自分軸とは、「自分は何のために生きるのか」「何を大切にしたいのか」「どんな人間でありたいのか」という問いへの、自分自身の答えです。それは一朝一夕に見つかるものではありません。しかし、日々の学びの中で、友との対話の中で、部活動や行事の中で、あるいは一冊の本や一枚の絵との出会いの中で、少しずつ形づくられていくものです。自分の中に軸があれば、SNSで誰かと比べて落ち込むことも減るでしょう。周囲の流行や同調圧力に流されることも少なくなるでしょう。たとえ失敗しても、自分が納得して選んだ道であれば、またそこから立ち上がることができます。借り物の道ではなく、自分の足で踏みしめた道を歩んでこそ、本当の意味で夢に近づくことができるのです。

生徒手帳に掲載されている故吉田貞雄さんの「夢」という詩の言葉を、今年度も皆さんと共に大切にしたいと思います。夢を描き、目標を定め、計画を立て、果敢に行動する。その一つひとつの積み重ねが、皆さんの人間力を高め、輝かしい未来へとつながっていきます。外からの声に耳を傾けることは大切です。しかし最後に判断するのは、いつも自分自身でなければなりません。「千里の道も一歩から」今日、自分軸に従って踏み出す一歩が、皆さんだけの、かけがえのない道をつくっていきます。今年度も、三島高校で共に夢を追いかけましょう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

新任の教職員を御紹介します

みやざき しゅういち 宮崎 修一 (教頭)	ひ の ちかお 日野 親雄 (地歴)	たけなか はる か 竹中 暖日 (国語)	たかはし み ゆ 高橋 美優 (国語)
こんどう てるゆき 近藤 輝幸 (地公)	はやし ただお 林 格男 (地公)	よしむら ゆう か 吉村 悠花 (数学)	ながの あ み 長野 亜美 (保体)
たなか あ ゆ 田中 愛夢 (保体)	よこた り え 横田 梨絵 (美術)	うつのみや こうき 宇都宮 光輝 (商業)	おち まの 越智 真乃 (事務)

この「くすの木通信」は、教室掲示、ホームページ掲載によって発行（不定期）する予定です。ぜひ、御一読いただき、学校への御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

【総務課】